

## コスタリカ内政・外交定期報告(2024年11月)

### 【ポイント】

#### 内政

- 政府による第三弾「ジャガー法」の推進
- 大統領府直轄の特別介入部隊(UEI)の権限拡大

#### 外交

- アンドレ外相の民主主義開発同盟(ADD)閣僚会議参加
- 米国による検査用スキャナー等の供与

### 【本文】

#### 内政

- 政府による第三弾「ジャガー法」の推進

現政権が公共事業の入札プロセスにおける会計検査院の権限制限を目指す「ジャガー法」に関し、11月13日、最高選挙裁判所(TSE)は、第二弾ジャガー法(Ley Jaguar 2.0)可決に向けた国民投票実施のための署名収集の申請を却下した。同裁判所は、同法案は新たな要素を追加しておらず、国民投票の実施は公的資源の非効率的な使用に当たると述べた。これに対し、11月19日、ラウラ・フェルナンデス大統領府大臣(当時)は、第三弾ジャガー法(Ley Jaguar 3.0)の国民投票を要求すると表明した。

- 大統領府直轄の特別介入部隊(UEI)の権限拡大

11月21日、チャベス大統領とフェルナンデス大統領府大臣(当時)は、大統領府に所属する特別介入部隊(UEI)の権限を、武器、爆発物、戦術情報、技術分野に拡大する政令を公表した。UEIは、麻薬取引やテロに関連する行為の危険にさらされている政府関係者や外交官の保護が任務であるが、同政令により、新たに「戦術情報」部門を設置し、大統領が任命する UEI 局長の要請に応じた捜査が可能となった。当国の法制度では、これまで捜査活動は司法捜査機関(OIJ)のみに限定されており、同政令は国会議員からの反発を招いた。

#### 外交

- アンドレ外相の民主主義開発同盟(ADD)閣僚会議参加

11月8日、アンドレ外相は、パナマで開催された民主主義開発同盟(ADD)閣僚会議に参加した。同会議では、ベネズエラ、ニカラグア、ハイチ情勢等の地域優先課題に関する議論がなされ、「安全保障と国際組織犯罪との闘い」が同同盟の新たなアジ

エンダとして加えられた。

●米国による検査用スキャナー等の供与

11月19日、米国政府は、麻薬対策の一環として、コスタリカ治安省に対し、貨物コンテナ検査用の固定式スキャナー2台及びピューマ無人偵察機2機を供与した。同支援は総額2450万米ドルであり、これには技術協力も含まれる。